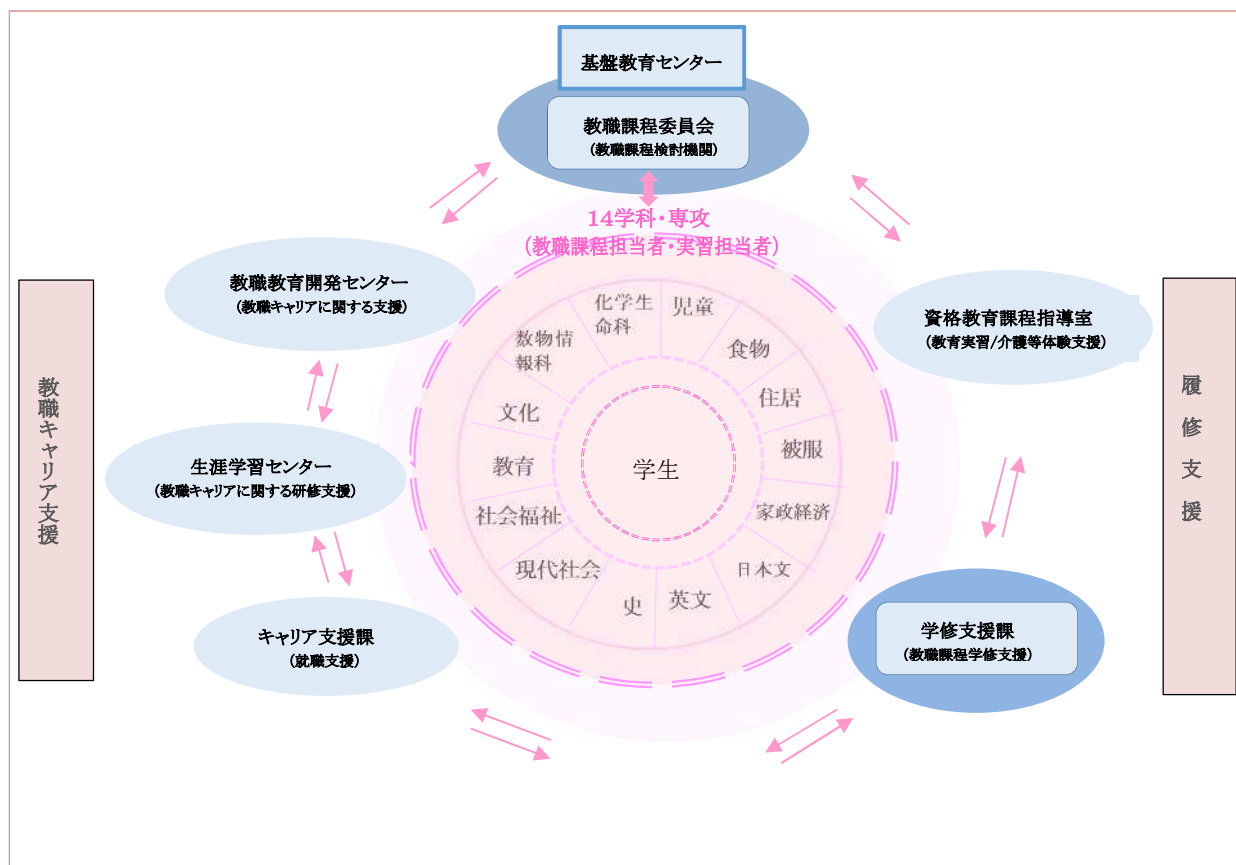


教員養成の教育の質の向上に係る取り組み

○教員養成に係る組織体制



●教職課程の運営体制

日本女子大学の教職課程の運営は、2021年度目白キャンパスへの統合にともない、大学執行部会議のもとにおかれた基盤教育センター下に設置された教職課程委員会が、課程認定学科および専攻と連携しながら推進しています。その特徴は次に示す2点です。

第1に、全学レベルでの組織体制を整えるために、課程認定学科および専攻には、教職課程担当者と教育実習担当者を配置しています。教職課程担当者は、課程認定学科および専攻の教職科目の配置や履修状況を総合的な視点でとらえて整備すると同時に、学生の履修状況を踏まえた学科個別の対応を行い、全学の教職課程委員会との連携をはかっています。他方、教育実習担当者は、学生の教育実習に向けた事前準備を含めて、実習期間中の指導や支援、さらには事後指導を行い、学生が充実した教育実習が行えるように指導しています。本学では、介護等体験も、この教育実習担当者によって担われています。このように、課程認定学科および専攻と全学レベルでの教職課程委員会とを2系列を整えることで、緊密な連携ができる体制を整えています。

第2に、上記の課程認定学科および専攻での教職課程の履修をより一層充実させるために、教職課程とキャリアの両側面からの学生支援を行える体制を整えています。教職課程支

援の核となるのは、資格教育課程指導室で、おもに学生の教職課程の履修相談や教育実習への支援を行っています。他方、教職キャリア支援は、教職教育開発センター・生涯学習センター・キャリア支援課において、教職に就くための支援を行っています。

なお、これらの関連部署を事務系の学修支援課が束ねており、教職課程委員会の決定事項のもとに安定的な運営が行えるように組織化され運営されています。

●教職課程支援の具体的な姿

○教育委員会との連携

本学では2011（平成23）年度に川崎市と、2014（平成26）年度には板橋区教育委員会、横浜市教育委員会、2021（令和3）年度に中野区教育委員会と連携に関する協定を結び、学校現場における実践的な取り組みを推進できる基盤整備を行っております。課程認定学科および専攻に開講されている「インターンシップ」系の科目は、これらの連携を基盤としています。

○学校ボランティア経験の推進

教職課程の履修をより豊かにするために、学校現場での体験を増やすことを目的として学校ボランティアに取り組みやすい体制づくりを、2021年度のキャンパス統合を契機に整えつつあります。

○専門性を生かした教職課程支援の推進

文学部英文学科では、中学校教諭・高等学校教諭一種免許状（英語）の取得を希望する学生に対して、子どもの成長過程（小学生）に合わせた英語教員を行うための専門家の養成を目的とした「英文学科小学校英語教育教員養成講座」を開設しています。

●教職キャリア支援の具体的な姿

○教職教育開発センター

教職教育開発センターでは、センター事業として在学生の教職キャリア支援に取り組んでおり、教員採用試験対策講座を実施しています。小学校と中学校・高等学校の2系列の対策講座を行っています。特に、前期は、7～8月を中心に全国で実施される採用試験に向けて、個人面接、集団討論、模擬授業、場面指導などの具体的な指導を行っています。あわせて、元公立学校長の経験者を中心とした教職経験豊かな先生方による相談業務が毎日開設されており、学生が気軽に相談できる体制が整えられています。

○生涯学習センター

リカレント教育にいち早く取り組んできた本学では、生涯学習センターでの各種資格取得のための取り組みが充実しています。その中に、教職キャリア支援の講座も開設されており、在学生在が卒業生や一般の方とともに教職に就くことに向けた取り組みを支援することができます。

○キャリア支援課

学生の就職活動は教職のみに限定されているわけではありません。教職に就くか、一般企業に就職するか、その時々々の採用状況との関連で検討することもあります。このような悩みを抱える学生にとってはワンストップ機能をもった支援部署になっています。